2018 年 4 月 12 日（木）18 時～20 時半 ＠国際センター駅 2F 青葉の風テラス
特定非営利活動法人都市デザインワークス（UDW）企画

◇ ラウンジタイム	18:00~18:20
◆ はじめに	18:20~18:40
◇ 話題提供　庁舎・広場の事例	18:40~19:10
◆ 模型を用いたモデルスタディ	19:10~19:30
◇ フリーディスカッション	19:30~20:40

参加者	34 名
UDW サポーター	6 名
UDW スタッフ	4 名

◆ はじめに

UDW スタッフ 佐藤：

まちづくりトークナイトを始めたいと思います。皆さまこんばんは、都市デザインワークスの佐藤です。お集まりいただきありがとうございます。はじめに、本日の「市庁舎の建替を市民が語り合う夕べ」を開くにあたっての経緯をお話しします。

市役所が変わることでまちづくりに対してどういう影響があるのか。出来れば建て替わることによって、もっと仙台のまちが使いやすくなったり集まりやすくなったり、仙台の市民力が発揮されやすい都市になると良いのではないかということを、去年から都市デザインワークスの中で議論してきました。その中で、100 万都市の中央にある広場としては、市民広場が少し狭いのではないかと感じるところがあります。せっかく市役所を建て替える中で、仙台市の“へそ”となる場所を広場と一体的に考えて、さらに周辺の定禅寺通りとか勾当台公園を合わせて繋がりをつくっていけると、建替を機に仙台のまちづくりがぐっと動き出すのではないかと思い、今日の場を開きました。今回は「けんちく と ひろば」をテーマに議論していきましょう。

また、仙台市で検討委員会が進められていて、6 月にはパブリックコメントを募集する予定がホームページに公表されているので、そういった時にここで話し合ったことを提案できればと思っています。今回は 1 回目ですけれども、もし可能であれば 2 回目 3 回目と重ねながら議論を進めていければと思っています。その時には違ったテーマで議論するかもしれませんし、ハッキリと決めたことはありませんので、今日の皆さんの話を踏まえて次回・次々回を考えていければと思います。

本日のスケジュールは、はじめに、簡単なデータを示させていただきます。それから話題提供、庁舎・広場の事例を紹介させていただいて、そのあと、中央のテーブルにあります模型を使いながら、あっちに置いたりこっちに置いたり、あるいはこういう形で広場をとっていったらいいのではないか、といった議論をしていければと思っています。それでは情報提供に入ります。

UDW スタッフ 田川：

こんばんは、都市デザインワークスの田川と申します。10 分ちょっとくらい、市役所の検討状況とかデータなど、素材を用意してきたのでご紹介します。

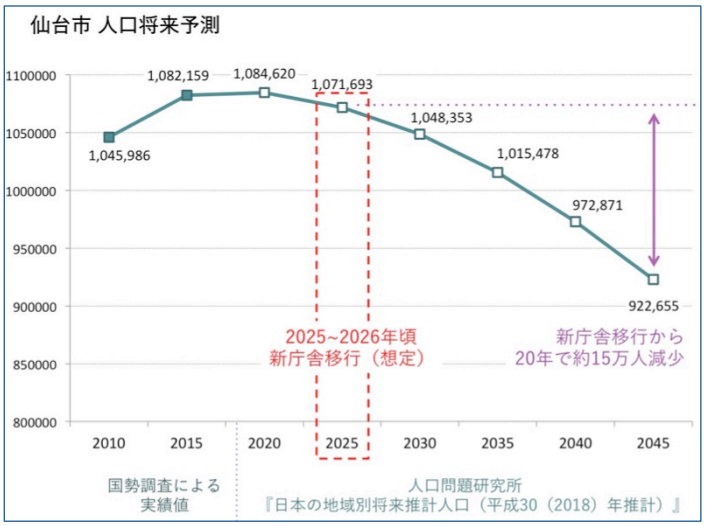
これは、今朝、市民広場と市役所を写真で撮ってきたものです。市民広場が県庁や合同庁舎、黒ビルと呼ばれる第一生命のビルとかオフィスビルにも囲まれていて、アーケードや定禅寺通りが微かに見える感じです。アーケードを出たところの定禅寺通りから市役所を見るとこんな感じで真正面にあります。いま市民広場の定禅寺通り側に、LIVE RALLY PARK というコーヒーや東北の物産品を売っているショップが置かれていて、今日のお昼に行ったら大変賑わっていました。それから、僕が 3 月に市役所建替の市民参加型ワークショップに参加した際に、屋上にあがらせてもらって撮った写真です。手前に市民広場があって、アーケードがずっと先の方まで続いて見える珍しい場所で気持ちがいい光景でした。写真は以上になります。

知っている方もいらっしゃると思いますが、市庁舎建て替えの大まかなスケジュールです。ホームページからそのまま持ってきていますが、2029 年 2030 年はコンクリート構造体の耐用限界

で、もうお尻が決まっている。その前3年間は建設設備のトラブル多発が懸念される時期となっている。2017年から基本構想・基本計画をつくり、その後、基本設計・実施設計をだいたい4年くらいかけて、建設工事をして引っ越しをすると間に合うのではないかというスケジュールで動いている。市役所内部では仙台市役所本庁舎諸課題対策検討調整会議を2016年6月に設置し、どういう建て替えに関する課題があるのか、それに対する対策などを検討し、2017年に報告書としてまとめてある状況です。外部の方を入れた建替基本構想検討委員会を2017年12月に設置し、コンセプト、建て替え場所、事業手法、整備手法、機能・規模、整備方針を協議する委員会として動いていて、次回が4月23日に行われます。検討委員会の資料や議事録などはホームページで公開されていて、本日もそこからいくつかお借りしてスライドを作っています。

検討状況から離れるのですが、市役所で何人くらい働いているのかを見てみました。教職員を除いて市役所や区役所で働いている職員数が、1万人弱。全国の政令指定都市と見比べてみると、仙台市は人口に対する職員数の割合が1%を切っていますが、他の都市も大体そのくらいです。

それから最新の人口将来予測を見ると、2015年の国勢調査では108万人で、新市庁舎に移行する2025年ころが107万人という予測です。それから20年が経つと、新市庁舎移行時より15万人が減少します。人口が減っていって職員数がどう推移するのか分からないですけど、どこを目指して市庁舎を設計するのがいいのか悩ましいと思います。



具体的に、新庁舎に必要な面積を見てみます。現在、市有庁舎で33,000㎡。借用庁舎の面積と合わせて、およそ65,000㎡が新庁舎に必要な面積となります。上杉分庁舎を継続して使う場合は55,000㎡となります。そして、建て替え後の新庁舎で働く職員数の想定ですが、およそ2,500～3,200人となります。

区役所と市役所との役割の違いについて。これは検討委員会の資料を拝借しています。政令市の市役所の役割として、「市役所は円滑性や効率性、生産性を重視して、集中配置をする」ということで、上杉分庁舎以外の市有庁舎・借用庁舎を新庁舎にまとめる方針となっているようです。

最後になりますが、これはかつての勾当台公園と市役所の写真です。杜と言って良いような緑の奥に隠れるように市役所が見えています。

◇ **話題提供　庁舎・広場の事例**

UDW サポーター 小貫：

小貫と申します。私自身が「せっかくだからカッコイイ庁舎がいい」と思っていたので、海外の市庁舎の事例などを調べて、UDW サポーターズミーティングで議論を重ねてきました。今日は「けんちくとひろば」というお題に合わせて、事例を紹介します。

まずは歴史的な市庁舎を紹介します。

ストックホルムの市庁舎。これは 100 年前くらいに建設されたものです。メラーレン湖に面して立地していて、中庭から水辺が近くて気持ちよい市庁舎です。この建築は、ノーベル賞の記念晩餐会を開くことで有名で、観光の資源にもなっています。観光ツアーもしています。屋外にも広場が設けられていて、イベントも行われています。

ノルウェーのオスロ市庁舎です。これは 50～70 年前の建築で、戦争を挟んでいます。屋内に広場を持っている市庁舎で、ノーベル平和賞の授賞式をする広場です。この市庁舎も海に面して建っていて、エリアの再開発に合わせて建てられました。単に「市庁舎の建替」だけをするのでなく、合わせて大きな計画を考えているのは大事です。

ニューヨークの市庁舎です。アメリカで最古の市庁舎で、ここでもガイドツアーをやっています。周囲には公園がありますが、「シティ・ホール・パーク」として整備されたものです。この建物だけでは市役所の機能は果たせないので、高層ビルとセットで機能を果たしています。

ホワイトハウス。都市計画としてナショナルモールが計画されています。観光地にもなっていて、シンボル的な場所です。有名なものだとベトナム戦争の反対運動のデモが行われていました。

続いて、最近に建設された市庁舎です。

オランダのデン・ハーグ市庁舎。1995 年に完成した市庁舎です。デン・ハーグはそれほど大きな街ではないですが、街中に位置しています。屋外にも屋内にも広場があって、屋内の広場・アトリウムではヨガ教室が開かれたりしている。デン・ハーグの計画を見せるコーナーも設けられています。

Pic. デン･ハーグ市庁舎（撮影:小貫）

ユトレヒトの市庁舎。駅の西側に位置しています。西側は“駅裏”だったが、機能を集約させて建てて、西側エリアを再開発しました。大階段を上っていくと大きなアトリウム。商業施設も入っている市庁舎です。行政のオフィス空間がアトリウムに開かれて建っているのは、建築と広場を考える上で参考になるのではないでしょうか。

ブエノスアイレス市庁舎。開かれた空間にいろんな機能が入っています。断面を見ても柱と壁が非常に少ない。広場もある。写真を見ただけでもすごく綺麗な市庁舎。

ブエノスアイレス市庁舎の設計者ノーマン・フォスターが設計したロンドン市庁舎です。テムズ川に面している。一つの螺旋階段で建物がつながっています。カンファレンススペースがあって、そこからはテムズ川が見えます。開かれた市庁舎のひとつ。仙台の市庁舎も、市民が愛着を持てる市庁舎になるといい。

ソウルの市庁舎。元々あった市庁舎の隣に新しい市庁舎を建てています。市庁舎の手前には広場がある。ユニークな外観は「津波を襲ってくるようで怖い」と言う人もいるらしい。屋内も緑化された、サステナブルな建築です。

緑化の話でいうと、まだ計画中だが、ベトナムのバクニン市庁舎案は緑化に配慮した建築です。内部のオフィススペースも緑化しています。杜の都仙台の市庁舎にも緑を取り入れられると良い。戦災復興記念館の写真を眺めて、昔は緑に隠れるように市庁舎があって、杜の都らしい市庁舎だという印象を受けました。例えば、フィンランドのフィンランディアホールは緑に囲まれて水辺に浮かぶような場所に建てられています。新たな市庁舎には、都市のイメージを表現したものになってほしい。

ロッテルダムの市庁舎案。街中に市庁舎があり、現在の市庁舎の隣に新たに建てるというもの。集合住宅と商業施設が市庁舎と一緒に建てられます。周辺のまちづくりと連動した市庁舎の計画となっています。

ここから「けんちくとひろば」の、国内の事例をご紹介します。

作られていない市庁舎ですが、東京都庁のコンペ案を紹介します。磯崎新さんは、「市民が集まる大聖堂」というコンセプトで、庁舎の中心に市民が集まる大きな広場を設けようとしました。庁舎の外ではなく、庁舎の中に広場を取り込んだ。個人的にはこっちができていたら面白かったと思っています。

長岡市庁舎。長岡は人口約 27 万人の都市。あえて街の中に市役所機能を分散させています。「アオーレ長岡」には半屋内のイベントスペースがあって雪の日でもイベントができる作りになっています。お祭りの時には、まち全体を会場にして行っています。また、近くにある再開発ビルには、市役所機能に加えてメモリアル施設と商業施設が集約されています。

Pic. アーカイブセンター(撮影:豊嶋)

2017 年に出来た新潟県新発田市の庁舎には、開閉式の大きなシャッターが設けられていて、屋内広場としても、屋外広場としても利用ができます。仙台の気候を考えると、このような広場も良いのでは。他には、庁舎にローカルラジオ放送局が入っています。

2020 年に予定されている、近江八幡市庁舎案。近江八幡市は 8 万人の小さな都市。広場と一体的な市庁舎を計画しています。広場と市庁舎の間に道路が通っていて、今の仙台市役所と市民広場の関係に近い。

2008 年にできた福生市役所。建物が一階レベルではつながっている。2 階に芝生広場が設けられて、そこでイベントが行われています。2 棟に分かれているので使いやすいかどうかはちょっと分かりません。

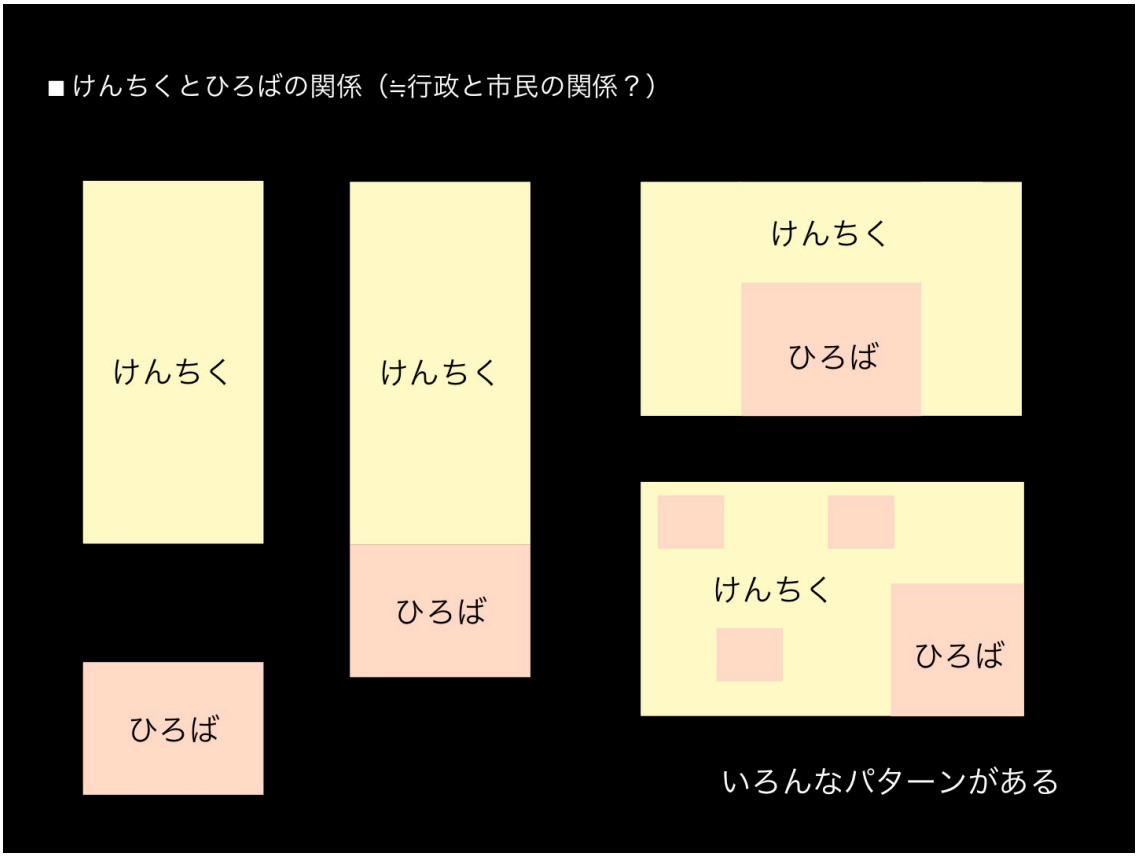
仙台くらいの都市で最近に建てた事例が少ないので、一気に人口規模が大きくなって、横浜市の市庁舎計画。一階に市民のスペースと商業施設があります。市民スペースとはオフィスが分離していて上層階にオフィスが入ります。オフィス空間はみっちりしていて、私にはちょっと仕事しづらそうに感じます。

今の市役所を考えると、近江八幡のように市役所と市民広場がつながらないかなと思います。例えば、オランダのアムステルダム科学館では、階段状の広場が科学館までずっとつながっています。途中にはカフェがある。ちょっとした仕掛けを設けて、広場と建築を一体的に出来ないでしょうか。また、仙台は冬が寒いので屋内にも広場があると良いと思います。大阪のナレッジキャピタルの広場は参考になります。サイモンブレイザー大学も寒い地域なので屋内広場が設けら

れています。仙台ではちかぢか羽生くんのパレードがありますが、そのような時に素敵な使い方が出来る屋内空間があると良いのではないでしょうか。コペンハーゲンにある IT 大学は、屋内の広場に面してミーティングスペースがぽこぽこと壁から突き出して設けられています。オルセー美術館みたいな感じの屋内空間も良いですね。

Pic. コペンハーゲン IT 大学（撮影:小貫）

最後に、けんちくとひろばの関係は、行政と市民の関係のようでもあると思います。それぞれが分かれて存在するのではなく、くっついていてほしい。それはきっと色々なパターンがある。建築の中にひろばが取り込まれるパターンもあれば、ひろばが分散して建築の中に入っているパターンもある。「これからの仙台が必要とする市庁舎とは？」ということを考えるときに、「行政と市民がどう関わっていったらいいのか」ということも考えるべきです。また、一番町と定禅寺通り、市民広場との関係も考えていかないといけません。



私からは以上です。

UDW スタッフ 佐藤：

ありがとうございます。小貫さんは、色んな事例を調べてミーティングで紹介してくれていました。ここで、何か質問はありますでしょうか。事例があり過ぎてどれを聞いていいか分からないかもしれませんが、いかがでしょうか。

参加者 A：

これまで検討委員会を 3 回開催しています。今は、市庁舎の建物をどうするかという話だけでなく、市民広場をどう考えていくのかという話や、定禅寺通りも広場のような空間であり、それらを一体的に捉えて全体像を考えないといけないと話しています。今日の話題提供はとても参考になりました。

質問していいでしょうか。広場空間とともに、もう一つ大事なのがオフィス空間。市役所の機能を考えると、市役所という場所は、市民の日常にはあまり関係がない。極端な話、働きやすいオフィスビルを建てて、職員に効率良く働いてもらえれば良い、という考え方もあると思う。基本的にはオフィスである中で、それでも市民と行政が関係を持たなければいけないのでしょうか。海外ではそのような関係をどういう風に整理しているのか。何かヒントがあったら教えてほしい。

UDW サポーター 小貫：

都市経営の観点から、これからの人口減少時代を見据えたときに、市庁舎を単純なオフィス空間としてつくって良いのだろうか。行政が担ってきたことに、市民も入っていくことが段々と必要になってくるのではないか。事例紹介を始める前に、市役所の機能と区役所の機能についての話がありましたが、検討委員会でどういう風に考えているのか、逆にお伺いしたい。

参加者 B：

これから人口も減っていき、行政の機能・役割も変わっていくでしょう。将来的に行政の機能を市民やＮＰＯが担い、公務員がいなくなっていくかもしれない。働き方もどんどん変わっていくと思います。ただ市役所と区役所の機能がどのように変わっていくのかを予想して市庁舎をつくることは難しい。市民に開かれた機能も必要ですが、今は基本的に市庁舎にはオフィス機能を考えています。市役所が将来的にどのようにあればよいのか、効率性と市民へ開かれることのバランスがどうあれば良いのか、これから基本計画の中で検討していきます。

UDW サポーター 小貫：

人口が減っていく中での行政の仕事と市民の関わり方について、参考になるような話はまだ出てきていない。他の事例がないからこそ、仙台市がチャレンジして、新たなモデルを作っていくことはできないだろうか。

UDW スタッフ 佐藤：

広場の話から離れてしまうのですが、市民と行政の関係について、市民活動に携わってきた視点から少しお話をいただけますでしょうか。

UDW サポーター 紅邑：

仙台市の市民活動サポートセンターに携わる経験を持っています。ＮＰＯ法が出来たときにテレビで特集していたのですが、「行政の仕事を民間が担っていき、第 2 の市役所みたいになっていく」と紹介していた。市民も一緒になって担っていくことが重要だと考えています。海外の庁舎もそういった意味合いを持っている建物だと思います。

UDW スタッフ 佐藤：

市役所では毎年組織再編が行われ、その時その時にあるべき姿へと変わっています。フレキシブルな空間が求められているのかもしれない。これについてはまたじっくりと話す機会を設けても良いかもしれません。

◆ **模型を用いたモデルスタディ**

UDW スタッフ 佐藤：

それでは、ここからは中央の模型の方に移って議論を進めていこうと思います。模型の方に寄ってきていただいてよろしいでしょうか。

宮城県庁舎が 80m で建っていますが、地区計画でこの辺りは最高高さ 80m となっています。現在の想定では、建替にあたって、まずは現市庁舎の噴水広場と市庁舎低層部・議会棟を壊して出来たスペースに、新庁舎を建てて、そのあとに残りの現市庁舎を壊します。高さ 80m の 6 万㎡をつくるとこんな大きさになります。想定位置に、このボリュームを置いてみると・・・どうでしょうか？ちょっと分厚くて太い印象を受けるので、市民広場が少し窮屈にならないでしょうか。もうちょっと市民広場が大きくなってもいいかもしれない。

例えば、ヴェネチアのサンマルコ広場くらいの大きさだとどうでしょうか。定禅寺通りに面した黒い建物が移動したら、そのくらい確保できるかもしれない。あすと長町に「杜の広場」という広場がありますが、市民広場と市庁舎前の道路と噴水広場がつながると、そのくらいの大きさが確保できそうです。

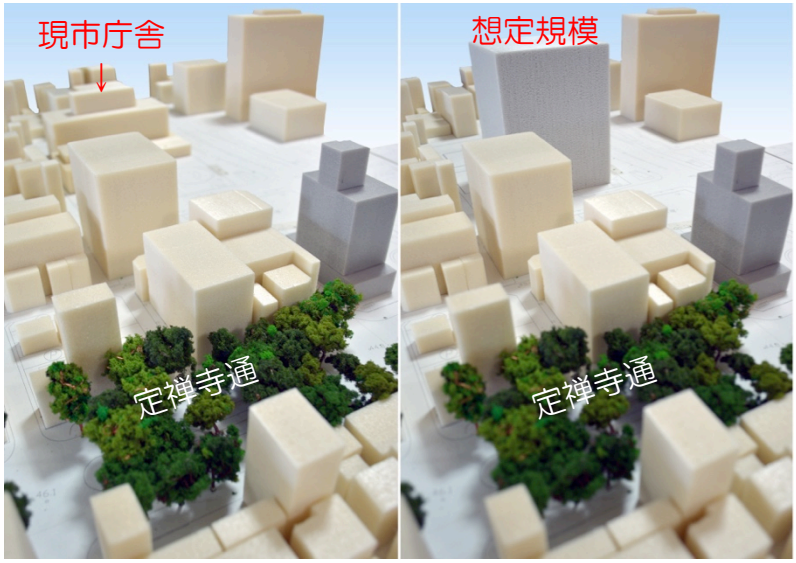
それから市民は区役所にしか行かない、と言うのであれば、区役所が定禅寺通りに面する場所に移動するということのもあるかもしれません。

◇ **フリーディスカッション**

- お金のことを考えた時には現地での建て替えが良いのかもしれないが、都市構造を考えた時に本当にそれが望ましいのか。
- 市役所がまちなかにあることは良いが、歴史的に市役所はずっとこの場所で変わらないのか。思い切って広瀬川沿いでもいいかもしれない。
- 市民広場の北側の道路を立体的に避けて市庁舎とつなぎ、階段で広場から直接アクセスできるのはどうか。杜の都とドライな広場は矛盾するかもしれない。
- 駅の近くに広場をつくる仕事に関わったことがあるが、広場はなかなか使われない。
- 10 年くらいかけて徐々に使いながらつくっていくのもいいかもしれない。
- 市民に開かれた場所に加えて、メモリアル機能も必要なのではないか。
- 旧さくら野デパートに間借りをして、その間に建て替えるのはどうか。
- さくら野も老朽化しているため、間借りは現実的ではない。
- 「庁舎の建替に時間がかかってもいい」という市民の声が挙がってくるといい。
- 建物の老朽化が建替を急ぐ理由だろう。
- なかなか広い広場が確保できないのなら、広場が建物の中にあってもいい。
- 例えば、恵比寿ガーデンプレイスには屋根のついた広場がある。ただ屋根をかけられるスペースはそこまで大きくできない。
- メディアテーク 1 階はガラスが開くと言われているが、開いて利用されている姿をあまり見たことがない。屋内に広場を設けるのなら、屋内と屋外がうまく使われるようになるといい。
- 広場の使い方をルールとしてどうやって設定できるか。長岡では半屋内の空間がうまく使えるようになっている。運営方法が重要だと思う。
- 広場と庁舎は一緒に考えないといけないのか。今日紹介された事例は「市役所」といっても仙台で言うところの区役所だと思う。今の仙台市役所はオフィスでしかない。市庁舎をあまり意識せず、広場を中心に考えてはどうか。市庁舎は「おまけ」くらいの考え方でも良い。
- 市民広場は仙台で一番使われている広場だろう。しかし、勾当台公園が道路で分断されていて、せっかく一緒にイベントが開かれていてもいちいち信号を待って渡らないといけない。
- 防災機能も考えないといけないだろう。市庁舎が開かれていることと防災が共存するのか。市役所には機密事項が多いハズ。あんまりオープンだと不安になる人もいるのでは。
- 完全に入口でセキュリティ体制が敷かれてもよい。
- 総務省が 2020 年までに政令市以外の役所の建替に対して補助金を出すため、続々と市庁舎が建て替わる。仙台市庁舎はその後に出来ることになる。山形でもいくつか建て替わるが、区役所を持たない自治体の市役所が建て替わる。
- 横浜市庁舎では、高層部のオフィス空間の建替に関する検討はごく限られた職員で行われた。

機密事項を守るため。配置すら外に情報を出せないものもある。

- 市庁舎はオフィスと議会だけでいいと考えるとか。
- 噴水広場に建つことになると、広場が小さくなってしまう。
- 噴水広場を使いたいから、こんな風に建てて欲しいという提案の方法はあり。



Pic. 現在の市庁舎配置と想定規模を噴水広場周辺に配置した模型の比較

- 県民会館の場所に市役所を持ってきてしまうとか、定禅寺通りに面して建っているのがいい。
- 「開かれる/開かれない」の話をしているが市役所に市民が行く用事がない。区役所で用が済んでしまう。県庁舎の食堂は行きやすいけれど、市役所の食堂は地下にあって行きづらい。
- 仙台市は創業日本一を目指している。広場で何かやってやろうと思う人が出てきやすいだろう。広場がどうあるかは大事。市庁舎は今の機能のままでも良い。
- 震災があった時に広場は広場ではなくなる。物資が欲しいという話は区役所で受けることにして、市役所の広場は何かの集積地にするとか。
- 今までのように、アーケードからの正面に市役所が見えていて欲しい。
- 市庁舎は分棟に配置していくのもいいのではないか。
- 現在の建物を残すことがどこまでのコスト削減になるのか。
- 将来的に区役所機能が高まっていくとか、そうした議論がまだない。
- ヨーロッパではタブレットが導入されて、役所機能は集約化されている。区役所がどんどん縮小していくのではないか。
- 逆のアイディアもあって、区を大きくしようという見方も出来る。最初は大区役所制だったが、また市役所に機能集約してしまっている。
- 市役所や区役所の機能に関する議論があった上で、建物を考えて欲しい。建替ありきで進めないで、行政マネジメントを考えてから検討していった方がいい。

◇ **ディスカッションで参加者の賛同が集まった配置イメージ**

＊市庁舎を３万㎡ずつの２棟の建物にする。

市役所検討会議の報告書にある当初案の高さ 80m・６万㎡のボリュームを、真っ二つに切断した大きさ

＊２棟の建物を現市庁舎が建つ敷地の、北側と西側へＬ字に配置する。

西側の建物は現市庁舎の議会棟を壊すことで建設可能であり、機能を保持しながらの段階的な計画が可能

＊杜の広場と同サイズ程度の市民広場を確保する。表小路を通行止めなどにして広場に含める

＊東二番丁通り沿いにケヤキなどの樹木を配置する。定禅寺通り・勾当台公園の緑との一体感

＜市民広場拡大・市庁舎分棟 案＞

◆ おわりに：参加者からの感想

参加者Ｃ：

いち市民として見ていて楽しかったです。建物を真っ二つにしてＬ字にしたのがすごく印象的でした。僕も仙台に 27 年間住んでいて、定禅寺通りはケヤキが綺麗だけど少し閉鎖的なイメージがあった。ケヤキが定禅寺通りから市民広場の方へ、広場の並木にも植わることで、定禅寺通りがさらに延びていく・拡がっていくようなイメージを持ちました。ページェントの可能性が拡がるようなつくりで、イベントを通じて建物と市民の関わりも増えるんじゃないかと思いました。ただ、市民広場が広がっただけで、建物に興味を持つ人が増えるのかなとも思いました。例えばペデストリアンデッキがあって、そこから広場の様子を見ることができると面白いのではないでしょうか。イベントを見渡せるということはなかなか無いし、デッキで建物にも近づきやすい。

青葉の風テラスでカフェを始めて 2 年目ですが、「こうした方がいい」ことを市の担当の方と話すことがあるけれども、色んな部署が関係していて出来ないことがあるというのが分かってきた。でも「こんなに良い場所なのになんでもっと活用しないの？」とお客さんに言われることがあって、これが普通の意見だと思います。市役所の建替も、色々な“しがらみ”があると思うけれど、市民と役所と関係なく出来たら良いし、自然にそういう関係が市民にも伝わっていくと良い。

参加者Ｄ：

市役所の本庁舎がどういった役割になっていくといいのか、市民と行政が一緒に考えていかなくてはいけないと思いました。予測は難しいけれども、これからの役所の視点も大事にしながら、検討を行っていかないといけないと感じました。

参加者Ｅ：

途中から来たので前半の議論が分かっていないですが、みなさんの意見を聞きながら、思うことがあってもなかなかこういう機会がないと言えないのだなと思いました。去年、仙台市役所の建替を考える演習課題を学生に出しました。私も元々仙台市民ではなく、東北大学の学生も、仙台以外の出身者がいっぱいいる。話を聞いていると、定禅寺通りや市民広場はイメージがあるけれど、市役所はあまり意識にない。先ほどの議論にあったように、広場を中心にして、市役所は大事な機能だけ、という考え方も確かにあると思う。今、市民広場は利用されているけれども、都市にある美しい広場になりきれているのかというとそうでもない。市役所の建替は一つのきっかけだと思う。みなさんで話をして、仙台のアイデンティティをつくれると良い。学生にも、仙台で学んで良かったと思って欲しい。東北大学は東京に出て行く学生が多い。仙台に残って、仙台を良くしていこうという人を育てていくという意味でも、都市のアイデンティティをつくることは大事だと思います。

参加者 A：

先ほど、機能だけでいいのではないかと申し上げたが、逆に言うと、中はなんでも良いと思う。大切なのは、仙台市民が「ここが私の故郷の市役所だ」と感じること。普段行くのは区役所でも、多分自分の街を紹介するときには、区役所ではなく市役所を紹介する。普段は行かないけどそこにあるということが重要で、ニューヨークも多分そうだろう。当然、機能をどうするかとか、広場とどう一体的にするかも重要な話。実際に市民が上手く利用するようになると、さらにそうした気持ちが醸成されていく。建物があること自体が私たちのアイデンティティ・シンボルになるというのが市役所。とても重要な建物なので、みんなでもう少し考えていきましょう。

UDW サポーター 杉山：

中身がなんでも良いという話がでたので、ちょっと反論として。シンガポールでは、国がどういう街を作るのかということが、非常に綺麗な場所でプレゼンテーションされている。市民のみならず、観光の場所になっている。仙台市がどういう街をつくろうとしているのか、まちづくりで考えていることがプレゼンテーションされるギャラリーが広場に面してあると良い。市民が休みの日にそこで一日過ごせるようになると良い。海外の歴史的な広場は、ぼーっと過ごせるようなことが魅力的。市民広場はイベントをやっている時は賑わっているが、それ以外ではなかなか居場所がない。日々接することで、市民もまちづくりに関わっていこうとか、好循環が生まれる。せっかくのチャンス。ギャラリー的な広場があったりして、市役所が仙台市民にとっての財産にもなり、行政も市民の声が聞ける魅力的な装置になるのではないかと期待しています。

参加者 F：

委員会の中で、区役所の機能について話をしてもレスポンスが返ってこない。ただ、今回の基本構想では、なるべくフレキシビリティを確保し、考える余地を残して次のステップに移りたい。都心部のメモリアル施設の位置付けや、戦災復興記念館やエルパークなど市役所のエリアの公共施設の使われ方の再編。そして民間事業者が市役所周辺でどういうまちづくりをしたいのかということについて、最大のランドオーナーである仙台市に議論を巻き起こしてもらいたい。市庁舎建替をきっかけにして、周辺の建替も色々な形で誘導できると良いし、繋がっていって欲しい。最後に、横浜の事例がありましたが、政令市がどういう市役所とどういう区役所を目指すのか、一覧表にまとまっているとありがたいです。そのような資料が委員会でも出てくると有難いです。

UDW スタッフ 佐藤：

色んな視点の議論となりましたので、次のステップに向けて整理していきたいと思います。またご案内させていただきますのでどうぞよろしくお願いします。本日はありがとうございました。